

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(主)設楽根羽線		
事業毎の通番	8	市町村名	根羽村	箇所名(ふりがな)	上松原(かみひばら)	
事業目的	当路線は愛知県設楽町から根羽村を結ぶ生活道路として、沿線住民にとって重要な道路である。また、茶臼山高原のシバザクラ祭期間中は高原道路の渋滞回避のため、(国)153号と当路線を通過し、多くの人々が茶臼山高原へ訪れる。しかしながら、当該箇所は道路幅員が狭く、大型車が進入した際にはすれ違いが困難である。このため、道路拡幅事業により円滑な交通確保を図るものである。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	なし					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:523台/日					
着手年度	平成30年度	事業期間	4年	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	2.0	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=302m、W=5.5(7.0)m		160,000		144,000 16,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費等の減少				
	間接的効果(定量的・定性的)	産業支援による地域活性化 地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 523台/日 ○代替道路の有無 : あるが安全性が低い ○医療・福祉・教育施設との連携 : 松原地区から根羽村デイサービスセンターへのアクセス道路 ○交通結節点アクセス : 村営バス路線となっている ○観光振興・地域の活性化 : 茶臼山の活性化に資する			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : なし ○緊急輸送路の路線指定 : 根羽村緊急輸送路に指定 ○地域指定 : 振興山村、過疎地域に該当			評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 2.00 ○事業期間 : 4年間 ○工法等の比較検討 : コスト縮減に関する法留め工法の比較検討あり ○他事業との連携 : なし			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H26 1件、H24 2件 ○道路環境改善 : H8防災点検箇所の改良 ○歩道整備 : なし ○現況の幅員、半径、勾配 : 車道幅員4.8m			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : H29.6 地元説明会により広く周知 ○地域の取り組み : H28.8 根羽村、改良期成同盟会から要望あり ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : なし			評価	B
	部局意見	事業の必要性、効率性、緊急性が高いため、平成30年度から事業化したい。			採択状況	総合評価
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。					

位置図

事業箇所

平面図

全体 L=302m、W=5.5(7.0)m

現況写真

標準横断面

至 (国)153号

現況W=4.8m

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)設楽根羽線は長野県根羽村と愛知県設楽町を結ぶ生活道路となっているが、愛知県側、静岡県側からの観光バスが高原道路の渋滞回避のため(国)153号、当路線を通り臼山高原へしている。しかし、幅員狭小で危険であるため、地元から道路改良の要望が高まっている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	・(主)設楽根羽線期成同盟会あり(H28.1、H28.8) ・H22から根羽村よりの松原地区の改良要望が建設事務所へ出されている。 ・H29.6 松原地区行政懇談会	
③事業説明等の経緯	・H29.3 地元説明会を実施	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	・なし	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・路肩部の土留は構造物ではなく極力土羽構造とし、緑化を図る。	
⑥地域活性化への影響と配慮	・道路の利便性により、茶臼山高原と根羽村との連携・村の活性化が見込まれる。	
⑦その他		事業代表地点の緯度経度 北緯:N 35° 13' 05" 東経:E 137° 35' 51"